

母校創立140周年記念

改装なった大阪市中心公会堂で学校式典（午前中）に続いて六稜同窓会140周年記念総会、記念講演、記念祝賀会を挙ります。

日時：2013年11月2日（土）
会場：大阪市中心公会堂
主催：創立140周年記念事業実行委員会
共催（幹事期）：94期

記念総会 13:15 受付開始
14:00 総 会
記念講演 14:30 尾崎 裕さん（80期）



Hiroshi Ozaki

大阪ガス株式会社 代表取締役社長
尾崎 裕（おざきひろし）氏

昭和25年3月生まれ（63歳）昭和43年北野高校卒業（80期）昭和47年東京大学工学部を卒業後、大阪ガス株式会社に入社。入社後、アメリカ留学、ガス製造部門での企画業務、3年間のロンドン事務所勤務などをを経て企画部へ。企画部では大阪ガスが都市ガス事業者として電力ビジネスへの初の参入に関わる業務に携わる。国際室長、原料部長などを経た後に、常務取締役となりガス製造・発電事業部長、エネルギー事業部長を歴任。平成20年に代表取締役社長に就任。座右の銘は、「用行舎蔵（任用されれば世に出て能力を発揮し、必要ないと言われれば身を引いて静かに暮らす）」。趣味はクラシック音楽の鑑賞。

記念祝賀会 16:00 参加費10,000円（140周年記念誌・記念品代含む）
120期（平成20年卒）以降の方は参加費5,000円とさせていただきます。
18:00 終了予定

今回は会場の都合で参加費当日払いの方の参加はできません。
所定の振込み用紙（会報61号に添付）で事前にお振込み願います。



大阪市中心公会堂 1-1-27

『好奇心とおせっかい』

創立140周年を迎えられましたこと 誠にありがとうございます。この度は、栄えある記念総会において、六稜同窓会ならびに学校関係者の皆様方を前に、記念講演の講師を務めさせていただくこととなり、大変光栄に存じております。

明治6年の創立以来、大阪の中等・高等教育を牽引され、数多の人才を育て、世に輩出してこられた北野高等学校140年の歴史に改めて敬意を表します。当然のことながら、教育・人材育成というものは、ひとり学校においてのみ行われるものではありません。「企業は人なり」と言われるように、人を育て、人の力を最大限に引き出すことは、企業が何よりも力を入れて取り組んでいることのひとつです。

私は、人を育てたり、人が成長したりする際に、良い意味での「おせっかい」や、なぜだろうと問う「好奇心」が極めて重要だと考えます。進んで他人の世話を焼いたり、物事を突き詰めたりするという意味で、いずれも人間関係や世の中の事象に対して一歩踏み込んでいく姿勢・態度だと言ってよいと思います。さらに言えば、この「おせっかい」や「好奇心」は、“お笑い・たこ焼き・タイガース”と同様に、まさに大阪人のDNAに深く根差した気質であるといっても過言ではありません。

当日は、こうした点を踏まえながら、大阪のことや会社のことなどについて、お話をさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

発行日 2013年9月1日
発行責任者 山本雅弘（71期）
編集 六稜同窓会
広報委員会
広報委員長 千種康一（88期）

発行 六稜同窓会 <http://www.rikuryo.or.jp/>
〒532-0025大阪府淀川区新北野2-5-13府立北野高校内
tel:06-6306-0374 fax:06-6306-1335
email:office@rikuryo.or.jp

事務局 平日 10:00~17:00（土・日・祝日は休み）

印刷 遊文舎
〒532-0012大阪府淀川区木川東4丁目17-31
tel.06-6304-9325 fax.06-6304-4995



六稜会報

CONTENTS

- 2 会長挨拶
- 3 名誉会長挨拶
- 4 会計報告
- 6 東京六稜会第56回総会
- 8 東西講演会
（六稜トークルー・東京六稜倶楽部）
- 9 六稜文庫
- 9 会館催事委員会
- 10 FR委員会

Party Reports

- 21 同期会報告
（55、56期）
- 22 （59、60、65期）
- 24 （67、71、95期）
- 26 同期会予告（66、70、74、
76、85、88、101期）
- 27 北野高校国際交流
- 29 教職員異動
平成25年度大学合格者・就職者数一覧

トピックス1

- 11 観梅会・記念碑の会
- 12 ラグビー部創部90周年
- 13 岡山六稜会・稜声会
- 14 大阪歯科大六稜会
- 15 期別対抗ゴルフの結果
ゴルフコンペ日程案内

特集「六稜の女子力」

トピックス2

- 20 六稜音楽部有志の会
125期新人幹事歓迎会

事務局だより

- 30 理事会報告
年会費納入のお願い
会費クレジットカード決済
140周年記念名簿
漂流する「割り舟」
- 31 お悔やみ
六稜カルチャー講座
- 32 140周年総会案内

61
2013.9.1



【特集】

六稜の女子力

戦後北野を支えてきたのは女子だ！

六稜祭でパフォーマンスするダンス部員たち

同窓会館で新たな六稜文化を ～創立140周年に際して想う～

六稜同窓会 会長 山本雅弘（71期）



今年私たちの母校は創立140周年を迎えます。現在、11月2日に開催される記念総会に向けて、学校、PTA、同窓会が一体となって、準備が急ピッチで進められています。

ところで、当会報の前号60号（3月1日発行）で「140年の六稜のぞき見」と題して、校歌をなぞりながら当校の先人の事蹟をたどりました。そこには現在の同窓会活動につながっているものはいくつかあり、今さらながら伝統の力を実感させられました。

たとえば、創立100周年を記念して同窓会から大阪市に寄贈された大阪城公園内の梅園です。当時のお金で2000万円を寄贈、梅の木880本（22品種）と造園の費用に充てられました。40年を経て1,250本（93品種）と見事に育ち、市民の良き憩いの場となっています。同窓会では毎年2月の第4水曜日にこの梅園で「観梅会」を実施しています。梅園入口近くの記念碑前で記念写真を撮った後、お城に隣接するホテルで昼食会となります。この会には毎年約80名のみなさんにご参加いただいています。

もうひとつ「北野」の名称の由来となった北野芝田町校舎跡の記念碑です。同校舎のあった土地は現在済生会中津病院になっており、碑はその正面玄関前にあります。ここでは毎年4月20日（土、日、祝日の時はその前日）に「記念碑の会」を行っています。かつては校旗を立て、校歌斉唱をしていたようですが、病院の改築と場所柄もあり、近年は記念写真の撮影のみにとどめています。この会でもそのあと場所を十三に移動して昼食会を行っています。参加者は例年20名くらいです。

この他にもクラブ毎や期毎に長く続く活動が数多くあると思います。そうしたたくさんの輪が幾重にも重なり合って、守るべきものが守られ、育つべきものが育っていくのではないのでしょうか。そして、そうした有様の総体が“六稜らしさ”を醸し出し、“伝統”という姿になるのでしょうか。

こうした活動の拠点として欠かせないのが同窓会館です。創立130周年を記念して建設されたものです。地上3階地下1階建、総工費3.69億円、

設計は85期の竹山聖氏、施工は71期の故・得田芳宏氏が社長在任中の松村組で、会館1階には、この建設に寄金をされた方々の名が記されたボードがあります。総数9474名（企業38社を含む）個人の内訳は26期～115期の卒業生に若干の在校生を含めて9221名、先生方が195名、一般の方から20名となっています。この会館は、同窓会のみならず在校生や地域社会にも開かれたもので、その役割を着実に果しています。

事務局はそれまで校舎内の空室を転々としていましたが会館2階に収まり、常任理事会、理事会は3階ホールで開催しています。同じホールで開催しているトークリレーは開館後まもなくにスタートし、ほぼ年間10回六稜会員を講師に招き、すでに100回を越えました。講師陣の年齢の幅、分野の広さには、六稜人の層の厚さを感じさせられます。そして何よりも、毎月の講師選定から広報、当日の会場設営と会の進行、講演の記録等々多岐にわたる作業に関わっていた催事委員会の皆さんに感謝と敬意を表したいと思います。おそらくこうした活動は、当同窓会が唯一のものだと思います。それだけに、この活動が今後さらに充実して継続していけるよう、切に期待するところです。

この他、佐野先生の英文学、佐々木先生の世界史という、2つのカルチャー教室、囲碁、水彩画、詩吟の教室、それに期毎の同窓会、クラブOB会等多様に使われています。学校でも色んなパターンで使ってもらっています。近隣の府立高校との教頭会をはじめ先生方の各種研究会、授業での一部利用、生徒の活動では吹奏楽、オーケストラ、ジャズ、ダンスの各クラブが使っています。

会館地下の展示室と収納庫には六稜の歴史を物語る貴重な資料もあります。同窓会館は、このように守るべき財産と新たな活動の場が共存しています。私たちはこの会館を、新たな“六稜文化”を生み出す拠点と位置づけてもよいのではないのでしょうか。会館をせいぜいご利用ください。

強烈な思い出

大阪府立北野高等学校 校長
六稜同窓会 名誉会長 原田恵子



縁あって、本年4月に校長として着任いたしました。平成3年4月から平成17年3月末まで本校で国語科教師として勤務させていただき、当時の中垣校長先生に教頭として外に出していただきましたが、その時は、まさか自分が校長として北野高校に帰ってくることがあるとは思ってもみませんでした。北野高校校長という職責の重さは十二分に理解しておりましたが、さらに今年は創立140周年を迎える年だと気づき、青ざめてしまった私です。

思えば、北野高校との出会いは昭和51年に実施された大阪府公立学校教員採用試験に遡ります。大阪府教員採用試験の筆記試験を、私は北野高校の旧校舎で受けました。地方出身の私は、同じ大学の友人2人と共に試験当日の朝一番の新幹線で新大阪駅に到着し、電車乗り継いで早朝の阪急十三駅に降り立ちました。地図を頼りに3人で北野高校を探してバス通りを歩き、それらしき場所を見つけてホッとしながら薦の絡まる塀の途切れたところから中に入ってみると、右手には鬱蒼とした森、左手にはテニスコートらしき空間、正面の遥か向こうに校舎らしきものが見えました。まっすぐ続く小道を進んで行くと、^{ひとけ}人気がない古びた木造2階建ての建物があり、そのさらに右手奥には、なんと焼け落ちた体育館らしきものがあるではありませんか。私たち3人は思わず顔を見合わせて、「ここって、もしかして廃校？」と声を合わせて言ってしまいました。それでも念のためと思って校舎に近づいてみるのですが、どこにも玄関らしきものが見つかりません。すっかり廃校だと思い込んだ私達は「大阪みたいな都会にも廃校ってあるんだねえ！」と言い合いながら、歩いてきた小道を引き返して、バス通りをさらに西に向かって進みました。次に見つけた学校が北野高校かと思うと、正門に新北野中学校と書いてあります。さらに進むと道路の反対側に学校らしきものが見つかりましたが、今度は

小学校と書いてありました。途方に暮れた私たちは、もう一度最初の「廃校のような場所」に戻ってみることにしたのです。すると何人かの人が先ほどの小道を校舎に向かって歩いていくのを見えました。最初に入った場所は、廃校ではなかったのかと驚きながらも、その人たちの後に続いて、とても玄関とは思えない入口から中に入りました。暗い階段を上がって教室に向かい、土蔵を思わせる黒くて重い戸を開けると、すでに多くの受験生が集まっていました。そこでやっと、ここが受験会場なのだと信じることができたのです。当時の北野高校はバス通り側に通用門とグラウンドがあったため、私たち3人は通用門から中に入ってしまったのだと、後で知りました。また、その年の2月に体育館が焼失して、焼跡の撤去がまだであったということも後日知りました。

遠い遠い昔の、けれどあまりにも強烈で忘れられない思い出です。

その時の試験で無事大阪府の教員として採用していただき現在に至るわけですが、この間の教員生活のうち14年間もの長い期間を北野高校国語教師としてつとめさせていただきました。根性があって、向上心があって、チャレンジ精神がある北野生と過ごした14年間は、私にとって宝物と言って良いものでした。もう一度北野生と共に過ごすことのできる機会をいただいたことに心から感謝しております。

至らぬところの多い私ではございますが、北野高校のために全力を尽くして参る所存でございますので、皆さまのご支援、ご鞭撻のほどどうかよろしく願い申し上げます。

また、卒業生のみなさんの中で私のことを覚えていてくださる方がいらっしゃいましたら、どうか校長室まで訪ねて来て下さいね。

会 計 報 告

平成24年度 六稜同窓会一般会計決算報告			
自：平成24年 4 月 1 日		至：平成25年 3 月31日	
(円)			
	平成24年度予算	平成24年度決算	備 考
収 入 の 部			
1 入会金収入	960,000	963,000	321名×3,000
2 年会費収入	21,000,000	17,648,000	5,890名
3 総会費収入	800,000	679,500	
4 寄付金収入	0	407,251	
5 利息収入	0	775	
6 会館維持協力金	500,000	833,000	
7 同窓会記念品売上他	500,000	393,233	
収 入 合 計	23,760,000	20,924,759	
支 出 の 部			
1 運 営 費	14,200,000	14,390,938	
(1) 人件費	7,800,000	7,799,650	
(2) 旅費・交通費	1,300,000	1,271,570	
(3) 通信費	400,000	474,271	
(4) 印刷・事務用品費	800,000	1,061,302	
(5) 什器・備品	1,000,000	1,029,000	
(6) 会議費	100,000	103,187	
(7) 総会費	1,100,000	1,189,125	
(8) 慶弔費	400,000	385,000	
(9) 会費払込手数料	900,000	834,130	
(10) 同窓会記念品制作費	100,000	0	
(11) 雑 費	300,000	243,703	
2 広 報 費	5,900,000	6,178,388	
(1) WEB 関連費	600,000	830,560	
(2) 会報発行関連費	5,000,000	5,347,828	
(3) 広報全般経費	300,000	0	
3 全国大会等出場援助費	200,000	190,000	
4 各種事業援助費	700,000	1,211,523	
5 教育環境整備援助費	300,000	300,000	
6 同窓会館関連費	2,400,000	1,982,126	
(1) 什器備品・設備費	800,000	71,505	
(2) 光熱費	1,300,000	1,270,709	
(3) 設備管理費	300,000	639,912	
7 予 備 費	60,000	0	
支 出 合 計	23,760,000	24,252,975	
本年度収支差額	0	△ 3,328,216	
140周年記念総会仮払金	0	△ 343,200	
年会費前年前受	△ 8,371,500	△ 8,371,500	
次年度年会費前受	8,500,000	8,050,500	
前年度繰越金	8,705,247	8,705,247	
次年度繰越金	8,833,747	4,712,831	

以上の通り平成24年度一般会計報告を致します
平成25年 4 月17日 六稜同窓会会長 山本 雅弘
上記一般会計報告は正確であることを認めます
平成25年 4 月17日 六稜同窓会監事 北浦 康弘
六稜同窓会監事 鈴木 基史

平成24年度 六稜同窓会基金会計決算報告		
自：平成24年 4 月 1 日		至：平成25年 3 月31日 (円)
科 目	決 算	摘 要
収 入 の 部		
1 利息収入等	4,601	
収 入 合 計	4,601	
支 出 の 部		
1 残高証明手数料	420	
支出合計	420	
本年度収支差額	4,181	
前年度繰越金	22,378,905	
次年度繰越金	22,383,086	三井住友定期・普通預金・りそな定期・郵便貯金

以上の通り平成24年度基金会計報告を致します
平成25年 4 月17日 六稜同窓会会長 山本 雅弘
上記基金会計報告は正確であることを認めます
平成25年 4 月17日 六稜同窓会監事 北浦 康弘
六稜同窓会監事 鈴木 基史

平成24年度 六稜同窓会名簿会計決算報告		
自：平成24年 4 月 1 日		至：平成25年 3 月31日
科 目	決 算	摘 要
収 入 の 部		
1 予約金	2,152,000	538冊
2 広告料	200,000	
収 入 合 計	2,352,000	
支 出 の 部		
支出合計	0	
本年度収支差額	2,352,000	
前年度繰越金	0	
次年度繰越金	2,352,000	ゆうちょBK

以上の通り平成24年度名簿会計報告を致します
平成25年 4 月17日 六稜同窓会会長 山本 雅弘
上記名簿会計報告は正確であることを認めます
平成25年 4 月17日 六稜同窓会監事 北浦 康弘
六稜同窓会監事 鈴木 基史

平成25年度予算は平成25年 2 月16日の理事会で、平成24年度決算は平成25年 6 月22日の理事会で承認されました

お問い合わせは事務局へご連絡ください

平成25年度 六稜同窓会一般会計予算	
平成25年 4 月 1 日 (円)	
	平成25年度予算
収 入 の 部	
1 入会金収入	960,000
2 年会費収入	19,500,000
3 総会費収入	0
4 寄付金	0
5 利息収入	0
6 会館維持協力金	930,000
7 同窓会記念品等売上他	1,000,000
収 入 合 計	22,390,000
支 出 の 部	
1 運営費	12,380,000
(1) 人件費	7,800,000
(2) 旅費・交通費	1,300,000
(3) 通信費	400,000
(4) 印刷・事務用品費	1,080,000
(5) 什器・備品	0
(6) 会議費	100,000
(7) 総会費	0
(8) 慶弔費	400,000
(9) 会費払込手数料	900,000
(10) 同窓会記念品制作費	100,000
(11) 雑費	300,000
2 広報費	6,350,000
(1) WEB 関連費	850,000
(2) 会報発行関連費	5,400,000
(3) 広報全般経費	100,000
3 全国大会出場援助費	200,000
4 各種事業援助費	1,380,000
5 教育環境整備援助費	300,000
6 同窓会館関連費	2,100,000
(1) 什器備品・設備費	400,000
(2) 光熱費	1,300,000
(3) 設備管理費	400,000
7 予備費	23,000
支出合計	22,733,000
本年度収支差額	△ 343,000
140周年記念総会仮払精算	343,000
年会費前年前受	△ 8,050,500
次年度年会費前受収入	8,500,000
前年度繰越金	4,712,831
次年度繰越金	5,162,331

東京六稜会 第56回総会のご報告

田中 敏 朗 (94期)



鏡開き 左から安藤若手交流会幹事、大鐘94期代表幹事、田中六稜同窓会常任理事、原田校長、松本東京六稜会副会長

6月15日(土)、学生会館にて東京六稜会第56回総会が行われ、約180名が一堂に会しました。今回は、1982(昭和57)年卒業の94期が幹事を務めました。

【総会】

総会は、伊豆原孝さん(94期)の司会でスタート。まず、志甫漣東京六稜会会長(66期)からのご挨拶では、来賓の原田恵子北野高等学校校長のご紹介があり、史上初の女性校長着任はまさに快事、と述べられました。原田校長からは、大阪府の実践的英語教育の取組支援事業で、北野では150人の枠に370人もの応募があり、府下でも飛びぬけて多かったという例を挙げ、「教えたことがこれほど大きく返ってくる学校はない、しっかりと生徒を教育し、成長させていきます」との頼もしいお言葉をいただきました。



総会司会 伊豆原孝さん



志甫漣東京六稜会会長



原田恵子校長

の頼もしいお言葉をいただきました。

次に、山本雅弘六稜同窓会会長(71期)から、11月2日(土)に中之島の中央公会堂で開催さ

れる140周年記念式典と総会への協力と参加のお誘いがありました。最後に、東京六稜会黒岩暎一事務局長(75期)より、会計報告等とあわせて、若手の参加を促すために、今回から学生の年会費・参加費を無料としたこと等の説明がありました。

【第一部 記念講演】

現在、長野県佐久市で学習塾を営むかたわら産直農業に従事する谷野賀津代さん(94期)に、「これからの食と農を考える～生活者と生産者の視点から～」という演題でお話をいただきました。



講師 谷野賀津代さん

学生時代から難民問題、砂漠化、世界の子どもの困窮といった問題に関心を寄せ、卒業後NGO職員として働いていた谷野さんは、結婚後の1990年から5年間、夫婦で72カ国を巡る旅を敢行。たとえばモザンビークでは、井戸掘り事業や診療所建設プロジェクトに関わるなど、現地の人々と働き、食べ物を分け合う日々を過ごされたそうです。帰国後しばらくは大阪へ戻ったものの、「物質的な豊かさよりも、自然と仲間と囲まれた楽しい暮らし」への思いは断ちがたく、1998年に佐久へ移住し、無農薬・無化学肥料栽培農業を始められました。当初は「食べるとピリピリするキャベツ」「レースのように虫食いの小松菜」などができてしまい、そんな野菜を大阪の友人が「買うたるから、とにかく送って」と応援してくれた

そうです。今では80種類ほどの季節の野菜栽培に加えて米や味噌もつくり、主に東京や大阪の消費者向け産直を続けておられます。

自然豊かな佐久は、日本屈指の健康長寿の町です。しかし、美しい田園風景、澄んだ空気とおいしい水があっても、農業後継者は不足しています。一方、都会で野菜を食べる人がいなければ農業は成り立ちません。“We are what we eat.”だからこそ、「食と農」、自分が口にするものがどのように作られどんな影響を与えるかにだれもが関心をもってほしい、と締めくくられました。

【第二部 懇親会】

懇親会の司会は、大谷智子さん(94期)が務めました。まず、来賓の六稜同窓会田中浩作(71期)・徳岡浩二(92期)両常任理事、笹川忠士事務局長(74期)、久保田静事務局長次長(73期)、北野高校の黒田真樹・出口学両教諭



懇談会司会 大谷智子さん

(94期)の紹介があり、徳岡理事から代表挨拶を頂戴しました。続く鏡開きでは、原田校長、松本邦宏東京六稜会副会長(70期)、田中理事、大鐘美明94期代表幹事、安藤裕二若手交流会幹事(115期)が登壇、幸田秀樹さん(94期)寄贈の菰樽に、「よいしょ!」の掛け声で勢よく木槌をふり下ろし、最年長の江川隣之介さん(56期)



56期 江川隣之介さん 乾杯のご発声

の力強いご発声で、乾杯が行われました。その後、新会員の中山佳菜さん(118期)、中野泰輔さん(123期)、加藤奏さん、横井健汰さん(以上124期)、川崎誠さん、久保朱莉さん、空元香奈莉さん、和久正義さん(以上125期)が、壇上から元気にご挨拶されました。

ここでマイクは安芸真博さん(94期)に渡し、



少し緊張気味の新会員のみなさん



クイズ大会「当たったー」



クイズ大会「外れた…」「よし」

参加者全員が10チームに分かれて競う「北野高校クイズ大会」となりました。どのチームも、祖父母から孫の代までメンバーの年齢は様々、北野以外の共通項はありません。「十三駅西口『喜八洲総本舗』の一番人気商品は?」「断郊競走が始まったのはいつ?」など、意外な難問続出に、各チーム喧々諤々の大騒ぎ。そして、スクリーンに正解が映しだされると、「おおっ」という歓声と「えー」という落胆の声。結果、優勝の2チームに、幹事手作りの北野高校写真入り葉が贈られました。クイズの後は、すっかり打ち解けたメンバー同士、会話が花が咲きました。

やがて懇親会も終盤を迎え、挨拶に立った大鐘美明94期代表幹事が一言「やっぱり、北野高校ってエエなあ」。その瞬間、拍手が沸き起こりました。そして、95期代表幹事の谷垣建永さんへと襷が引継がれ、梅田正太さん(94期)指揮、鈴木美佐子さん(94期)のピアノ伴奏による校歌斉唱、安藤裕二さんのエールをもちまして、第56回東京六稜会総会・懇親会は、めでたくお開きとなりました。

母校創立140周年の記念の年に、同窓生が世代を超えて笑顔で交わり、伝統の重みと未来への希望を肌で感じた会となりました。北野高校関係各位、東京六稜会、六稜同窓会の皆様、関東以外の遠方からもお運びくださった参加者の皆様に、心より御礼申し上げます。

東京六稜倶楽部

<http://rikuryo.or.jp/tokyo/rikuryo-club/>

日 時★毎月(第3)水曜日
11:00開場 11:30開演(約2.5時間)
会 場★ライオン銀座クラシックホール
(銀座ライオン7丁目店6F)
会 費★2,000円(ランチバイキング付)
主 催★東京六稜会
事務局★松本邦宏@70期/細見裕子@77期/山上芳昭@79期

9月18日 第129回 飯田毅さん@77期
(飯田技術士事務所 所長、
大阪産業大学 元 教授)
「耐震・制震に関するプチ開発例」
10月16日 第130回 永井司さん@77期
(元 日本食品化工 社長)
「甘くない砂糖の話」



六稜トークリレー 第111回「戦時下の北野生たち」

六稜文庫 7月末までのご寄贈受付分

<http://rikuryo.or.jp/books/>

「ナニワの美女医が実践する若く見える毎日の習慣」
里見英子 (83期)
「事業承継と地域産業の発展」
松岡憲司 (81期)
「テレビの未来と可能性 - 関西からの発言」
山本雅弘 (71期) 基金運営委員長
「大阪府立北野高等学校七十五期
卒業五十周年記念文集 輝ける日々」
六稜75期
「雪の轍」
中正敏 (46期)
「ひろがる人間の夢 iPS細胞ができた！」
(共著：山中伸弥)
畑中正一 (63期)
「現代政治学」
「政党」
「ノルウェーの政治」(共著)

ご存知ですか？



一度、六稜 Web を経由して amazon.co.jp でショッピングをした場合、購入代金の数%が Amazon 社から六稜同窓会へ寄付されます。

本を売価で買って、著者を応援し、同時に母校への還元にもなる……ちょっと「いい気分」なプログラム。ぜひ、ご協力ください！(書籍以外の商品もすべて有効です。)
<http://rikuryo.or.jp/books/amazon-associate/>

六稜トークリレー

Rikuryo Talk Relay

<http://rikuryo.or.jp/talkrelay/>

日 時★原則、毎月(第1)土曜日
13:30会場 14:00開演(約2時間)
会 場★六稜ホール(六稜会館3F)
※1Fロビーも同時使用可
会 費★500円(飲み物を準備しています)
主 催★六稜同窓会
共 催★各期同期会 or クラブOB/OG会など

9月7日 第111回 58、59、60、61、62、63期・各期有志
座談会「戦時下の北野生たち」
10月5日 第112回 佐々木信明さん
(元北野高校音楽科教諭)
「北野高校吹奏楽部」(仮)
11月9日 第113回 島本慈子さん@82期(文筆家)
12月7日 第114回 定藤規弘さん@88期(脳科学者)
2014年
2月1日 第115回 柏木哲夫さん@70期
(元淀川キリスト教病院ホスピス病棟)
「終末期医療について」(仮)
3月1日 第116回 山中廣志さん@75期(橋梁関連)
4月5日 第117回 渥美和彦さん@59期
(日本統合医療学会名誉理事長)
「統合医療について」(仮)
5月10日 第118回 白藤純嗣さん@64期
(福井工業大学 元教授)
「ダイヤモンドは永遠に」(仮)

「演習ノート 政治学第4版」
「スウェーデンの政治」
「日本・ノルウェー交流史」(監修)
「スウェーデンハンドブック 第2版」(共編)
「スウェーデン議会史」(監訳)
「スウェーデン現代政治」
「少子化政策の新しい挑戦」(編著：小淵優子)
岡沢憲芙 (75期)
「さんだ 旬を味わう」
「さんだの旬を戴く 恵みの食卓」
「一汁三菜 タごはん」
三宅幸子 (66期)
「西沢学園・特許 実用新案集 No.21」
西沢正樹 (87期)

ご寄贈有り難うございました。

いますぐクリック→



催事委員会報告

七夕の前日、第109回の六稜トークリレーが開催された。講師は80期の家正則さん。国立天文台・教授で演題は「次世代超大型望遠鏡(TMT)で見る宇宙」。この講演は日本天文学会が主宰する「全国同時七夕講演会2013」にも登録された。

第1部は、8mすばる望遠鏡の経緯。準備7年、建設9年、総工費400億円のビッグプロジェクトは1999年にハワイ島に完成。国立天文台初の海外観測所で、拠点はマウナケア山頂のドームと山麓にある研究施設の2箇所からなる。言うまでもなく、すばる望遠鏡は山頂ドームにある。予約すれば無料で見学できるそうだが、標高差が4200mにも達するため、高山病に対する備えが必要。くれぐれも弾丸登山は自粛したい。

すばる望遠鏡の最大の特長は8mにも及ぶ主鏡。超低膨張ガラスの加工から始まった。一辺1.5mの正六角形のガラスを55枚敷き詰め、継ぎ目を溶かし合わせて一枚にする…という途方もなく大がかりなものだ。米コーニング社がそのための工場設備を新設して対応、4年がかりで製造された。次の研磨工程が、これまた特設の専用工場で、風や日照の影響を受けない地下40mに設置された。毎日厚みを計測しながら、ミクロン単位の凸凹を均す作業。もちろんコンピュータ制御だが、削りすぎたら最初からやり直しになる。研磨にも4年の歳月を要した。

これだけ大きな1枚ガラスだから、運搬も並大抵のことでない。米国の広い高速道路でも三車線を埋めてしまう。警察当局と連携のうえでの移動となる。また、アメリカは銃社会なので、不満従業員に主鏡を拳銃でぶち抜かれた天文台もあると聞く。すばる主鏡も頑丈な装甲でカバーされ、前後をパトカーで守られながら米大陸を縦断した。

総重量23トンの主鏡は260本のロボットアームで支える。アーム1本あたり90kgの荷重、これで精度1gのゆがみまで制御できるという。また、昼夜のゆがみの差から、鏡から生じる「かげろう」現象を突き止めたりして、7年の歳月をかけ世界最大・最高精度の主鏡が完成。そうして、地球から最も遠い銀河(10K-1、128.8億光年)を発見することになる(2006年)。これはギネスでも認められ、その後一度アメリカとスペインの研究チーム

に記録を破られたが、2012年にまた最遠方記録を奪還した。

家先生の講演は、天文学物理学の難しい概念を、われわれの生活に近いメタファで置き換えることで、理解を容易にしてくれるものであった。時にはジョークのフリップを挟みながら、時には四択クイズを交えながら、講演は佳境へと入っていく。

第2部は補償光学のお話。要するに、混じるノイズを逆位相の波をぶつけて消してしまおうという「ノイズキャンセラ」で、これにより、すばる望遠鏡は視力が10倍になったという。「6億円の装置で400億円の望遠鏡の性能が10倍にアップするのだから安い追加投資だ」とあっさり言う家先生。理屈は分かるものの、すでにお金の単位も天文学的で庶民にはまさに雲の上の話に聞こえた(笑)。

第3部、最後の話題はクライマックス「TMT」だ。日米に加え、カナダ・中国・インドの5ヶ国が進める次世代超大型望遠鏡プロジェクト。1500億円の総工費で2021年の完成を目指す。主鏡は日本製の予定で直径1.55mの超低膨張ガラスを574枚敷き詰める。文科省としては異例の前倒し予算がつき、今年60枚を先行して製造するという。

マウナケア山頂には既に13基の望遠鏡が設置されており、TMTはすばるからおおよそ500m離れたところに建設が予定されている。完成すれば、すばると連携して、32等星まで見えるようになるという。これは「東京に居て、札幌に置いた1円玉が1mm動くのを観測できる」ことなんだそう。想像を絶する夢の観測機が、いま、実現に向けて大きく動き出している。

既にこの計画にはインテル社のゴードン・ムーア会長より250億ドルの大口寄付が寄せられているが、国立天文台では「金額ではなく人数を集めたい」としており、1000円以上の寄付で、ハワイ観測所の寄付者銘板に名前が刻まれるという。第1期(3月末べ切)は1715件、約1700万円が寄せられた。孫やペットの名前でも受け付けるそうなので、懐み深いあなたも、ぜひ協力してみては如何？

※詳細は国立天文台TMT推進室のウェブサイトから「TMT計画への寄付」をご覧ください。

<http://tmt.mtk.nao.ac.jp/>

Produced by 六稜同窓会 FR 委員会

FR (Fresh Rikuryo) 委員会では、20代・30代の六稜会員が学年を超えて交流できるよう、年に数回イベントを開催しています。学生向けには「就職活動」をテーマに就活相談会やエントリーシートの添削・模擬面接などを開催しています。社会人向けには「若手交流」をテーマにイベントを開催し、他業種の方や世代を超えたつながりの場を提供しています。

2月9日（土）「就活ミニ相談会&六稜若手交流会」開催報告

真冬の寒い日、六稜会館で就活ミニ相談会と六稜若手交流会を開催しました。

就活ミニ相談会

秋の就活相談所とは趣を変えて、少人数でのエントリーシートの添削や模擬面接を行いました。



少人数開催のメリットを活かして、ひとりひとりじっくりとお話しさせていただきました。

参加者から、ひとりひとりに合ったアドバイスが貰えたという好評でした。

六稜若手交流会／六稜ビブリオバトル

若手六稜会員で本の紹介コミュニケーションゲーム「ビブリオバトル」を行いました。



お題は「感動して泣いた一冊」。参加者全員がイチオシの1冊を紹介しました。様々な視点があり、知らなかった新しい本の世界を垣間見ることができました。

※ What's ビブリオバトル？

<http://www.bibliobattle.jp>

12月28日（土）「行列のできる就活相談所&六稜若手交流会」開催告知

今年で7回目を迎える「行列のできる就活相談所&六稜若手交流会」は、参加者が学生・社会人合わせて100名を超えるFR委員会の一大イベントになっています。

今年は例年と異なり、年末に開催いたします。遠方にお住いの学生や社会人の方にもご参加いただきやすくなっていますので、多くの方々のご来場をお待ちしています。

【第1部 13:00～15:00 個別イベント@六稜会館】

<行列のできる就活相談所>（就活生向け）

本格的な就職活動が始まる前に、「仕事とはなにか？」というテーマでパネルディスカッションなどを企画しています。アドバイザーとして数人の内定者も迎える予定です。

<六稜若手交流会>（若手六稜会員向け）

今年は学生時代にお世話になった先生方をお迎えしての交流会を予定しています。

【第2部 15:00～18:00 合同イベント@六稜会館】

学生は社会人に仕事に関する率直な質問をすることで、社会人は学生の質問に答えることで、「仕事」について改めて考えるイベントを企画しています。例年、学生・社会人とも新たな発見があると好評です。

【第3部 18:00～20:00 懇親会@十三駅周辺】

お酒の席で自由に話をしていただける場です。第1部、第2部ではなかなか聞けない本音トークも飛び出し、毎年大変盛り上がりします。

※上記は予告なく変更する場合があります。最新の情報は六稜WEBにてご確認ください。
ご不明な点がございましたら、FR委員会 (fresh@rikuryo.or.jp) までお問い合わせください。

<募集！>

FR委員会では、一緒にイベントを企画・運営する仲間を募集しています。

イベントってどうやって企画しているんだろう？こんなイベントをしてみたい！など興味がある方はFR委員会 (fresh@rikuryo.or.jp) まで。

★FR委員会では、Facebookの【六稜FR】北野高校若手OB.OC！（20代・30代）のグループページにて、様々な情報発信をしています。ぜひご覧ください。

トピックス1

●平成25年 記念碑の会

六稜同窓会事務局

毎年、創立記念日の4月20日に開催していますが、今年は土曜日の為19日（金）になりました。

晴天ながら春嵐の様な突風の吹く中、約30名の六稜生が今年も大阪府済生会中津病院本館正面前庭にある「大阪府立北野中学校跡記念碑」前に集い、昔を懐かしみました。山本雅弘六稜同窓会会長（71期）と共に記念撮影のあと、タクシー

●観梅の会に参加して

北方志津子（北岡樹）（80期）

今年の冬は幼いころを彷彿とさせる厳しい寒さの毎日でしたが、2月27日、前日からすると10度も高い小春日和のような温かさの中観梅の

会が行われました。話にはお伺いしながら、大阪城の梅林公園には行ったこともなく、この会も初めて参加させていただきましたが、このお天気とあいまっ



て、枝振りも立派な梅の木の姿と香りに酔いれました。

これを昔母校が植樹（寄付）されたのだと思うと感慨深いものが御座います。やさしい諸先輩方のお元気そうな笑顔と檄を頂きながらの和気藹々の会食も楽しいものでありました。人生の中での青春のいつきの場を共有させて頂いただけの縁が、こんなにも温かい時間を頂けるなんて、つくづく幸せ者だと実感した一日でございました。

で十三に移動。ホテルプラザオーサカでの懇親会では、最長老阿部源三郎さん（50期）の乾杯音頭のあと、過去の記念写真を鑑賞したり、昔を懐かしむ話や近況の報告をし合ったりして、友好を深め、13時前に散会しました。

来年は4月20日が日曜日のため、18日（金）に開催する予定です。



●ラグビー部創部90周年記念式典

久保大地（114期）



総会後の記念写真（現役も含む）

先日7月14日（日）、大阪市北区堂島浜の中央電気倶楽部において、ラグビー部の創部90周年記念行事が行われました。

一年の活動を振り返る年次総会に始まり、パネルディスカッション、記念式典、そして懇親会と盛り沢山のスケジュールで行われました。

パネルディスカッションでは、パネリストとして、記憶にも新しい2013年6月、ウェルズズ戦に歴史的勝利を収めたラグビー日本代表主将である廣瀬俊朗氏（112期）、日本協会公認A級レフリーの原田隆司氏（98期）、楠野宣孝氏（前北野高校校長）と、コーディネーターとしてラグビージャーナリスト村上晃一氏の4名に、「学校教育とスポーツ～ラグビーから得た事～」と題したテーマについて熱のこもった討議をしていただきました。縄跳びや水泳、断郊競争など北野名物‘鍛える’体育の話も飛び出し、私自身も高校時代の苦労と努力を思い出しました。

続く記念式典にはご来賓の他、定期戦を組んでいる天王寺・洛北・神戸高校を始め、四條畷・八



パネルディスカッション

尾高校ラグビー部OB会の代表、更に六稜同窓会からは山本雅弘会長・笹川忠士事務局長・サッカー部、卓球部、野球部、バスケットボール部

OBOG会代表など約160名のご臨席を賜りました。オーケストラ部現役の伴奏による校歌斉唱で始まり、来賓挨拶・会長挨拶、そして、これまでの功績を称えて功労者の表彰をさせていただきました。写真に写っているのは、左から下平嘉昭氏（61期）、野々村博元顧問、比山實二氏（63期）、自見弘之氏（70期）、廣瀬俊朗氏（112期）

の5名ですが、所用の為に参加が叶わなかった田中伸明元顧問、橋下徹氏（100期 現大阪市長）を加え7名の方には感謝をこめて表彰状と記念品を授与させていただきました。

また、90周年を記念して同窓会を経由して学校に「50万円相当のトレーニング室用の追加器械とラグビー部用練習器具」を寄贈する目録を山本会長から原田恵子校長に手渡していただきました。

そして懇親会では、ジャズフォークソング同好会によるウエルカム演奏から始まり、出席者の皆様は懐かしい思い出話など最後まで盛り上がり、和やかな雰囲気の中、長時間の記念行事は終始大



藤村会長挨拶

盛況で幕を閉じることができました。

今後、100周年に向けて、六稜ラガークラブ一同、更なる発展を目指し、充実した活動を続けてまいりたいと思います。



功労者賞表彰

ラグビー日本代表ジャージを寄贈

7月14日（日）のラグビー部創部90周年式典の際に、現在のラグビー日本代表主将の廣瀬俊朗さん（112期）から現役へ2012年11月グルジア代表に勝利した時のジャージ（背番号14）が贈呈された。現役からは学校に保管して貰いたいとの事で、土井友輔主将（126期）から原田恵子校長に寄贈されました。後日、額にいれて六稜会館地下ギャラリーにて展示される予定です。



●岡山六稜会・第30回総会のご報告

足立富郎（82期）



7月に入り「百日紅（さるすべり）」が炎天下にも怯むことなく、紅、白、薄紫の花を溢れさせています。このミソハギ科の落葉小高木は中国南部が原産で7月から9月の夏の盛りに華麗な花を咲かすことで有名ですが、花言葉は「愛嬌・潔白・雄弁」です。6日には関東・甲信地方、8日には九州・四国・中国・近畿・東海地方も「梅雨明け」となりました。

岡山六稜会・第30回総会は7月6日（土）・18時よりメルパルク岡山において、六稜同窓会・笹川忠士（74期）・事務局長をお迎えして、総数25名で行ないました。男性20名、女性5名で、このうち今回新たに出席された方は4名でした。ご高齢の前田先輩（56期）をはじめ、～69期3名、70～79期4名、80～89期10名、90～99期3名、100～123期4名でした。総会では笹川事務局長をトップに初出席の4名（82・89・93・107期）が自己紹介や近況報告をされました。

最近の社会情勢は目紛しく変化しています。科学技術では遺伝子診断やiPS細胞を応用した再生医療が進歩しています。政治では2010年12月18日のチュニジアの「ジャスミン革命」からエジプト・リビア・イエメンと「アラブの春」が訪れま

した。シリアでは今でも激しい戦闘が行なわれ、さらに7月1日には就任1年を迎えたモルシ・エジプト大統領の国軍による退陣と暫定大統領の指名など混沌としています。経済では長く続いたデフレからの脱却のため、1月11日の記者会見で安倍首相が雇用と所得の拡大を目指す「アベノミクス（緊急経済対策）」を発表しました。3本の矢（大胆な金融緩和・機動的な財政政策・民間投資を喚起する成長戦略）に続いて4本目の矢は財政健全化（増税）と日本経済の再生で完結します。その結果は格差社会の到来とマネーゲーム・詐欺商法・買収乗っ取りなどが横行するのではな

いかと危惧しています。この社会情勢を乗り切るには「和の精神」が必要です。「六稜魂」を持って、真実・公平・好意と友情・奉仕というロータリー「四つのテスト」に照らして、みんなで団結して頑張しましょう。

来年の岡山六稜会・第31回総会と懇親会は平成26年7月12日（土）を予定しております。次回からは総会の開始時刻を1時間早めて17:00とし、総会に続いて懇親会（カラオケ etc）をします。従って二次会は設けません。再会を楽しみにしております。

●稜声会合唱団演奏会～第7回北野高校コーラス部フェスティバル

岡田陽子（94期）

ほぼ1年前の平成24年8月12日（日）に、「第7回北野高校コーラス部フェスティバル」が箕面メイプルホールにて開催されました。

北野高校コーラス部フェスティバルは3年に1度行っている、北野高校コーラス部OB・OGによる発表会です。卒業後も合唱を続けている者も、すっかり遠ざかっている者も、これを機に懐かしい曲や新しい曲を練習し、旧交を温めます。理想のレベルに到達することは難しくとも、連帯感を高めつつ、少しずつハーモニーが合っていく快感は病み付き！これが忘れられなくて、また3年後を目指すことに。

第7回のプログラムは、1.パッハ等の合唱曲（指揮者107期植松）、2.桑田佳祐他ポップス（指揮者118期吉村）3.「マザーグースのうた」から数曲振り付き（!）（指揮者90期坂口）という、3



人の指揮者によるバラエティに富んだ構成。アンコール数曲の中で「We are the world」にも挑戦しました！最後は恒例、客席のOB・OGにも舞台上に上がってもらい、大勢での校歌大合唱で幕を閉じました。

今回特筆すべきは、総勢30名中現役生5名の参加を得られたことです。一旦途絶えていたコーラス部が数年前復活し、現役生と交流を持てるようになったのは、卒業生達にとって無上の喜びです。次回も共に舞台上立つ約束を交わし合え、私達の夢は膨らんでいます。

次の開催は2015年の予定。ぜひ皆様、世代を越えて楽しむ私達の舞台に足を運んでくださいね！



●大阪歯科大学六稜会20年を経過して 黒川 森 夫（70期）

思えば、標記同窓会は、平成4年10月8日大阪歯科大学卒、六稜出身の有志21名によって世話人会を開き、綿密な準備を重ね同年11月28日の発起人会を経て平成5年2月6日第1回設立総会を開催して以来早や21年目を迎えました。

幅広い年齢層60名の会員を擁し、初代会長には和田茂之会員（51期）が就任、かくして六稜精神に燃える歯科医師の集団が発足、年に一度総

会・講演会を重ね、当初は会場確保に苦慮しながら現在は六稜ホールを基地として地道な活動を続けております。

平成13年度からは、設立発起人でもあり、会発展に尽くされた岡野博郎会員（61期）が第二代会長に就任、その後平成24年度からは私が引き継いでおります。

10周年を迎えた平成14年度には「大阪歯科大学六稜会会員名簿」を作成、次いで平成24年度には岡野編集委員長を中心に36ページにわたる「大阪歯科大学六稜会20周年記念誌」を発刊し会員に配布、記念講演では大阪歯科大学口腔外科学 覚道健治教授の講演を聴きました。

平成25年2月3日第21回総会・講演会では70期 柏木哲夫大阪大学名誉教授から「終末期医療をめぐって」と題して終末期医療への新しい対応について含蓄深い講演を聴くことができ、今後は非「トークリレー」でより多くの方々に聴講していただければと感じました。

嬉しいことに最近になって会の団結と活性化が見受けられ、新しい流れを感じるようになってきました。これからも私共は和気藹々の雰囲気の中、常に六稜精神を意識しながら地域医療推進のために更なる努力を続けたいと考えております。



●奇跡の優勝記

一 色 健（77期）



第24回期別対抗ゴルフ大会で、望外の優勝に驚いた第77期一色です。例年この大会は、真夏の太陽が容赦なく降り注ぐ7月第4週日曜日に開催される過酷な大会です。リタイア後は、参加できることが元氣な証拠！との思いで毎年参加させて頂いております。この大会は、団体戦と個人戦があり特に団体戦は各期メンツもあり毎年熾烈なバトルとなっています。

それでは、当日のVTR再現です。コンディション、この時期には珍しく暑さも我慢でき雨にも合わず良好な状況でした。西コースから、今日も元氣だ空気が美味いと意気揚々とスタート。出だしドライバーナイスショットセカンドOB上がれば8打。第2ホール3打めロストで結局9打。アヘア、これで早くも9オーバーや、もう止めて帰りたい気持ちをグウ〜と抑えその後は心機一転の快進撃、残り7ホールを6オーバーで終え前半51で終了。（大叩きホール：①+4②+5③+4が優勝に大貢献）

前半終了後の休憩時、美味しいビールで喉を潤し鉄板焼きでスタミナをつけ後半の南コーススタート。出だしホール：パー幸先よし、第②③共にダボでガクッ、第④パーよしよし、第⑤何とバーディ、第⑥⑦ボギーマアマア、第⑧ダボ、最終ホール何とバーディで後半42の好スコア、グロス93で終了。グロスの目標は90台前半、スコア的には満足！1ラウンド2バーディは、10年以上も記憶にない快挙。後は、大叩き3ホールとダボホールが神のみぞ知る隠しホールに入ることを願い、同伴者のアテスト後スコアカード提出。

さあ、残るは表彰式のみ。開始迄の間、同期の

仲間とアレコレ楽しく歓談。夕方5時過ぎ表彰式が始まり、大会プレゼンテーターの同期桑原さんから個人戦入賞者が次々アナウンス。前回覇者

の第77期が、交代で入賞者へ賞品授与。中々、同期メンバーの名が呼ばれない。その後、上位入賞で一人二人と名が出てきてその都度ハイタッチで祝福。最後の一人「優勝者 一色」とアナウンス、これには本人が一番ビックリ。何と！第77期から2年連続の個人優勝・栄えある団体戦3連覇の快挙達成。団体戦・個人戦の結構な賞品を手にして18時過ぎ

帰路に就く。車中で隠しホールの確認、大叩き3ホール&ダボ3ホールは全て隠しホールに入っており、パーティホールは対象外の奇跡。これは、神の悪戯か？ 有難う神様！！

最後になりましたが、当日同じ組で楽しくプレイさせて頂きました「78期横山さん・重内さん／77期西川さん」には感謝申し上げます。又、総勢参加者162名もの大会を運営されました事務局の皆様方には何時もながら感謝・感謝です。



2013年クラブ対抗ゴルフコンペのお知らせ

第25回六稜クラブ対抗ゴルフコンペ

日時：2013年9月29日（日）

場所：三田カントリー27

2014年期別対抗ゴルフコンペのお知らせ

第25回六稜期別対抗ゴルフコンペ

日時：2014年8月3日（日）

場所：三田カントリー27

（注）例年の7月最終日曜日から8月第1日曜日に変更です。



64期(1952年)卒業アルバムより

今年度より原田恵子先生が、北野高校初の女性校長として戻ってこられました。原田先生は平成3年から17年まで北野で教鞭を取られ、以前この会報で修学旅行を特集した際に偶然表紙に登場いただいたご縁もあり、また、教員時代の評判を聞くにつけ、ぜひ、校長先生とお話したいと北野に押し掛けました。

最近では女子の活躍については、世間一般にも男子と比較されることがなく、ごく自然に受け入れられ、またその評価は高いと感じています。しかし昔はどうだったのでしょうか。

今回は、原田校長先生のご紹介をはじめ、歴代女性教員、女子生徒の活躍に、断片的ではありますがスポットを当てることにいたしました。

【特集】

六稜の女子力

戦後北野を支えてきたのは女子だ！

広報委員会

松田典子(95期)

中嶋明子(106期)

特集+表紙デザイン
谷 卓司(98期)

『校長先生に一問一答』と題しまして、原田校長先生に20の質問を投げかけました。ひとつひとつ丁寧に答えていただきました。北野での教員時代、生徒との関係がどんなに素晴らしかったことか！体育大会入場行進での出来事は、生徒たちも素敵です。また、生徒

を尊敬できる校長先生のお人柄に触れることができました。そんな校長先生を尊敬している生徒は少なくないと思います。そして校長先生も、ご自身の恩師の方々から影響を受け、そして尊敬しておられます。人と人の関わりを大切にしたいと思います。



今年の六稜祭～ダンス部のパフォーマンス

Q1. お帰りなさい！北野の印象は変わった？

本当に思いがけない展開で、8年ぶりに北野高校へ帰ってこさせていただきました。まじめで、ひたむきで、礼儀正しい北野生の様子は変わっていませんでした。外部に対するパフォーマンス力はアップしている印象を受けました。それと、季節の変わり目に女子生徒が着用するベスト姿をほとんど見かけないので、不思議な気がしています。衣替えをすると白一色ですね。

Q2. 教員時代で印象に残っていることは？

体育祭の入場行進の時、事前にクラスの体育委員から言われた通り、本部テントの最前列あたりで立っていたところ、クラスの団がテント前を通過する際、私の方へ手を差し伸べて全員で「原田先生、だーい好き！」と叫んでくれたことは忘れられない嬉しい思い出です。

Q3. 校長先生になられて、やりたいことは？

もう一度北野生と仲良くなることが一番です。次に北野生の安全をしっかり守ることです。早速、危険が潜んでいそうな箇所を先生方にチェックしてもらっています。

Q4. 北野高校のココが好き♡

日本の学生の古風な良さを残しているところと、どんなことにも全力を尽くして取り組む集団であるところが大好きです。

Q5. 好きな食べ物は？

基本的に好き嫌いはありません。特に果物は好きです。

Q6. 好きな本／作家は？

何といっても、芹沢光治良の『人間の運命』です。宮部みゆきの本も好きですね。

Q7. 休日の過ごし方は？

きちんとお休みが取れる日には、夫婦でいろいろな植物園に出かけます。

Q8. 好きな映画は？

昔の映画で、ロバート・レッドフォード主演の「追憶」です。

Q9. 好きな音楽は？

ラヴェルの曲が好きです。特に「逝ける王女のためのパヴァーヌ」は心に沁みます。



校



長



先



生



に



一



問



一



答



Q10. 好きなスポーツは？

サッカーです。

Q11. コレ得意なんです！

恋の悩み相談。

Q12. これだけは誰にも負けません！

チャレンジ精神と「方向音痴」の程度は、誰にも負けないほどすごいと思います。

Q13. 好きな国／地域は？

好きな国は「日本」です。

Q14. 一番印象に残っている修学旅行先は？

北野高校の生徒といっしょに行った北海道ですね。ラベンダー畑の美しさは忘れられません。

Q15. 一番印象に残っている生徒／クラスは？

どのクラスも、どの生徒も素晴らしくて大切な思い出ばかりですが、特に一人だけあげるとしたら、私が北野高校に着任した時に授業を担当して知り合った宮川五十雄君(105期)でしょうか。高校生時代から自然保護に関心を示していて、今も自然保護活動をしているそうです。ぶれない生き方をしている人です。あまりにも大人の考え方や雰囲気を持った高校生だったので、思わず尊敬してしまったことを覚えています。

Q16. 一番印象に残っている先生は？

大学時代の恩師、野地潤家先生です。

国語教育学の最初の授業で「あなたたちが大学入学までに学んできた授業のことはすべて一旦忘れなさい。どんなに良い授業だったと思っていても忘れなさい。そして、白紙の状態、古くからの理論や新しい理論を学び、討論し、実習を行い、自分なりの理想的な授業の在り方を考えなさい。その後で、自分が受けてきた授業のスタイルを思い出して、取り入れるべきは取り入れるようにしなさい。安易に『学んできたスタイルの真似』をしないように…」というようなことを仰いました。

高校の教師となることを志す者が、大学時代に何を学び、身につけていかなければならないのかを、厳しく教えてくださった偉大な先生です。



Q17. 一番印象に残っている授業は？

私が小学校1年生の時の担任「富谷先生」に習った道徳の授業です。30歳代の男の先生でした。面白いパフォーマンスを取り入れて、ルールとかマナーとかをきっちりと教えてくださったことを覚えています。今でも授業の一場面がはっきりと浮かんできます。

Q18. いま気になっていることは？

私が担任を受け持ったクラスの卒業生たちが、私が北野高校に帰ってきたことに気づいてくれるのかどうか気になっています。会いに来てほしいですね。

Q19. 先生方に一言！

激動の時代で大変ですが、北野生のためにいっしょに頑張りましょう。

Q20. 在校生に一言！

あたりまえのことを、あたりまえにできる人でいてください。

☆おまけの一言

校長のフルネーム「原田恵子」を必ず覚えてくださいね。

☆在職教員から見た「原田校長はこんな先生！」

いつも微笑みを絶やさず、性格は明るい方。校務上の相談には親身に乘ってください、行動は迅速な印象がある。女性の観点での生徒、校内の治安などのご指摘は貴重だと思う。

※Q11の回答をお聞きて、在学中に『恋の悩み相談』をお願いしたら良かったと後悔しています。担任・顧問・授業を受けた卒業生の皆さん、ぜひ校長室を訪ねて下さい。

■北野初の女性教員はフランス人

『北野図書館報』第10号(1985(昭60)7月発行)に「男女共学事始」として本校最初の女子生徒、女性教師について記されています。集成学校時代の1873(明6)8月に10名の女子生徒が入学。ただし、教室は男子と別々で、授業もフランス人女教師レイモント(16歳)が担当した、とあり、さまざまな想像を掻き立てます。

時代を先取りし過ぎた共学は定着せず、レイモントは明治8年4月で満期解約。女子生徒も明治13年3名在籍を最後に、学制改革の昭和23年まで68年間その姿を見ることがなくなります。女子に教育は不要とする人々が圧倒的であった時代、大阪府学務課からのお達しとはいえ、女子生徒の受け入れには困惑の様子が伺えます。

■戦前は男子校だった北野

昭和23年(1948年)の学制改革による大手前との交流で、女性教員、女生徒が多数転入してきました。女性教員の担当教科は、国語、数学、英語、生物、家庭、保健体育と様々でした。



高田貞子先生
(家庭)



津吉和子先生
(生物)



栗岡フミ先生
(数学)

当時、生物を教えておられた福田(津吉)先生は、女学校時代の生物の授業が毎回とても楽しくて、生物も先生も大好きに。そして同じ道に進むことを決意、師範学校を東京で過ごされたのでした。女学校から共学へ…さぞかし血気盛んな男子生徒には苦労されたかと思いきや、多少やんちゃな面を持ち、黒板消しを扉上から落とす、というような王道のいたずらはあったものの、素直でかわいらしい生徒たちという印象をお持ちでした。クラスの中でも女子が少し少なめであったにもかかわらず、女子も男子に負けず、元気があったというのはいつの時代も変わらないものですね。

そんな中で、大変だったのは、昭和30年頃までは校内に女子トイレが少なかったこと。それまでは、女性職員が数人だったこともあり、一階にしかないトイレは常に女子生徒、女子教員の長蛇の列、授業に遅れてしまう女子生徒もいた、という元男子校ならではのエピソードをお聞きすることが出来ました。

また、学校に保管されている昭和27年頃のクラス

集合写真には、8～9クラスのうち、1～2人の女性教員が担任として最前列中央で凛とした姿で納まっています。全体的には男女ともにあどけなさの残る生徒たち。新しい世の中が変わっていく激動の時代ですが、案外ゆったりとした時間の流れであったのでしょうか。新しい時代を切り開くため、男女関係なく皆が希望を持って同じ方向に向いて突き進んでいたからでしょうか。この時代には逆に男女の別、といったものがあまり感じられません。



西川昭子先生
(音楽)

音楽の西川先生には、芸術の選択科目に関わらず、全員が校歌でお世話になりました。昭和37年に北野に赴任された時には校歌の伴奏譜がなく、西田暁夫先生に口移して教わったなんてこと、ご存知でしたか？男女大勢での斉唱にも問題ないように、音を調整して譜面を作ってくださったのでした。

授業では、生徒のいたずらを受けた「ヘビ事件」で悔しい思いもされました。それでも「北野ではとても大きくかわいがってもらった」とおっしゃいます。新しく女性教員が来られると、調理室で家庭科の先生方のお料理で歓迎会があったそうです。高田貞子先生を『おおあねえさま』と慕っておられました。そして、藤尾直正先生から「西川さん、大丈夫か」と声をかけてもらったことを、とてもうれしい出来事とおっしゃったのが印象的でした。「しんどいのか」ではなくて。とても共感できます。



松浦育代先生
(保健体育)

昭和40年～60年代に在学された方々には、女子生徒に力を入れた授業、課題があったことをご記憶かと思います。男女の別を感じ出したのは、いつからでしょう。定期考査前の縄跳びの試験、潜水25mの試験…なぜ女子だけ？と疑問、不満を持ったこともありましたが(もちろん、男子だけのメニューもありました!)。最近になって体育の松浦先生が「女子もやればできる!」ことを示す場を与えて下さったのでは…というヒントを耳にし、松浦先生にはお電話でお話を伺うことにしました。

当時の女子の体育の授業は週2時間、男子の4時間に大きく差をつけられていました(差は家庭科の授業でした)。体力的にも技術的にも伸びる高校時代

に、今やらなければいつやる!この時に積み重ねてきたことは、きっと後々になっても力となる、粘り強さになる…という信念のもとに、厳しい指導を続けてこられました。おかげさまで二重飛びはまだまだできます(笑)。

昭和50年前後には、総務や生徒会長を務める女子生徒も現れました。最近では、学校内の生徒会や部活動での活躍はもちろん

のこともながら、校内にとどまらず、校外で活躍する女子生徒が増えてきました。国体や近畿大会など大きな大会に出場する女子選手や、詩や舞踏、芸能など芸術の分野で活躍する女子たち、頼もしい限りです。

女性だから、女性初…などと取り上げることは、男女を問わず違和感を覚える方もいらっしゃることでしょう。女性だからしっかり頑張らねばならない、という時代を経て、しかし、今活躍されている方々自身にはそういった強い意識は無く、人としてやるべきことをしっかりやる、女性であることも、女性と言われることも当然のこととして、あるいは気負いなく受け入れている。それは、北野で過ごした日々を通して、先生方や先輩、同級生に支えられながら、もまれながら、自然と学んだことなのかもしれません。

【お願い】六稜会報の特集では、今後もお世話になった先生方について御紹介していこうと考えています。名物先生、忘れられない授業、印象深い言葉、etc. 何でも結構です、情報をお寄せください。教科毎にまとめていく予定です。

【御礼】前60号の特集『今は無きクラブ』に、鈴木秀三郎さん(57期)からお手紙をお送りいただきました。在学中は滑空部に所属されていたとの由。「特集記事により70年前の青春の思い出を懐古することができた。」と感謝のお言葉を頂きました。嬉しい限りです。お手紙には、偶然見つけられた当時の合宿訓練の案内文が転記され、解説を付けていただきましたので、ここで少し紹介させていただきます。

◎場所：信太山滑空場(現在の陸上自衛隊演習用地。当時は青少年滑空訓練合宿所)

◎費用：金拾円也～かなり高額!(当時の年間授業料7円五拾銭)

◎携行品：米一升、毛布等(食糧は配給制の時代で旅行宿泊においては米を持参する必要があった)

◎教官：二級滑空士 平石先生、貿易学校 越川教官

『今は無きクラブ』につきましても引き続き皆様からの情報を募集いたします。原稿・写真等をお寄せください。取材にも伺います。感想もお待ちしておりますので、よろしく願いいたします。

トピックス2

●61期～65期、六稜音楽部有志の会

青木民男（63期）

5月26日、17名の懐かしい顔ぶれが「ホテルグランヴィア大阪」に揃いました。61期から65期、終戦直後の昭和20年代をあの音楽室で、オーケストラやコーラスなど共に楽しんだ仲間達です。完全な名簿も無く、判る範囲での呼びかけでしたが、61期（1名）、62期（1名）、63期（8名）、64期（4名）、65期（3名）、（男子9名、女子8名）の参加でした。

野口藤三郎氏（53期）、蛭沼進氏（57期）、亀沢芳久氏（58期）、太田満敏氏（61期）、を始め、当時ご指導を頂いた今は亡き多くの先輩に、水野大輔氏（62期）の発声で黙祷を捧げ、続いて松本靖史氏（61期）の乾杯の音頭で会は始まりしました。60数年は一気にタイムスリップ。

高齢にもかかわらず、わざわざ東京から参加された松本靖史氏の、混声合唱がスタートした時の裏話や、水野大輔氏による、戦後初めて北野高校オーケストラが発表会を開いた時の涙ぐましい苦労話、また混声合唱で「流浪の民」を歌った大手前会館での出来事などなど。

永野稔氏（63期）は人工透析の合間を縫って東京から参加、人生最初の師匠水野氏に再会出来たと大喜び。美声の持主だったテナーの角地正純氏（63期）も年には勝てず、車椅子で参加。日本フルート協会の大御所にまでなった曽根亮一氏（64期）は参加できないが皆様によろしくとのこと。あの六稜音楽部の頃が、一番の思い出として、一同の心に今も残っていたようです。

六稜音楽部は、今ではオーケストラ部ほか幾つかの部に分かれてましたが、それぞれの部を大きく



育てられた後輩諸氏に感謝すると共に、活躍されている現役の人たちに改めてエールを送ります。＜追＞上記の角地氏は、残念ながら7月11日逝去されました。

●125期新人幹事歓迎会

FR委員会 副委員長 吉野英知（114期）



六稜同窓会の未来を背負って立つ彼・彼女たちが我々の仲間に加わってくれることになりました。

先日、本年3月に本校卒業したばかりの新人幹事さんを迎えて、毎年恒例の同窓会新人幹事歓迎会が開催されました。担当幹事であるFR委員会からも2名、また1年先輩にあたる幹事の方も、時間を縫って駆けつけてくれました。

最初は先輩を前にして若干緊張していた様子でしたが、挨拶では今後に向けた頼もしい言葉が飛び出すなど、和気藹々とした雰囲気になりました。

彼・彼女たちと話しながら考えたことは、六稜同窓会の将来の在り方です。

彼らの世代では、大学や社会人となって関西に留まるのはもはや少数派であり、日本全国あるいは世界が活躍のフィールドとなりました。また携帯電話やSNSの普及により、昔よりはるかに簡単に、高校時代の友人たち、あるいは世代も越えて気軽にコミュニケーションが取れるようになりました。

そんな価値観の転換期の中で、将来有望でエネルギーギッシュな彼・彼女達が、六稜同窓会に魅力を持ち参画してもらうためには、同窓会と受け入れる我々先輩もまた、従来の枠に留まらない同窓会の価値を生み出すことが不可欠と考えます。

「同窓会に貢献することが当たり前」ではなく、「魅力ある同窓会に巻き込んでいく」。我々FR委員会は、その最前線に立って、特に20・30代の若い卒業生に対して、同窓会の価値を生み出すことに挑戦していきます。

Party Reports

●55期同窓会最後の集い

藤田晴（55期）



第55期同窓会の最後を飾る卒寿の集いは、平成25年5月16日午後4時からホテルグランヴィア大阪で開催され、23名が元気で出席しました。

記念撮影の後、会は平谷吉高君の司会で始まり、これまでに逝去されたすべての恩師と同期の友を悼んで黙祷しました。うち昨年の同窓会以後に判明した永眠者は、青山正巳、高島嘉門、高谷善昭、田尻敏一の4君です。つぎに小谷恒之君から事務報告があり、栗田満信君の音頭で乾杯しました。

今年は同窓会案内の返信状に全員に短信を書いてもらい、小谷君が編集した「一言集」を欠席者にも配布しております。さらに、会の席上でも皆に短い発言をお願いしました。その内容は多彩ですが、最後の集いだけに思い出話が目立ちました。たとえば森下吉一君は良き師友に恵まれた北野時代をたたえ、千葉寛君は伊藤泰三君のことを回想、武本達朗君は田尻君の逝去を悼みました。

昨年表彰の栄誉を受けたと発言したのは、小谷君（素粒子メダル賞）と劉善夫君（ラグビー功労賞）です。社会貢献のため今でも頑張っているという報告は、ドクターの木戸友三郎君、弁護士の戸根住夫君、老人クラブ活動を支援している前田亨夫君などからありました。老後の生き甲斐に関しては、近藤喜治

君は世界一美しい少女の絵を描こうと精進しているとのことでした。維新史を勉強してきた松代英二郎君は新島八重について話し、藤田は写真入季語別句集刊行の夢を語りました。

健康法や人生観についての話も賑やかでした。石田裕君が自得した長寿の秘訣は、「食べる、寝る、運動する、笑う」ことだそうです。林真一君は「引

くな、転ぶな、義理を欠け」というモットーを披露しました。現在の心境については、「老兵は死なず、消えゆくのみ」（榊田果知郎君）、「少年老い易く学成り難し」（木田幸雄君）などの名言も登場しています。その他、憂国の発言（中村隆君、藤井孫兵衛君）や現況報告（酒井良之助君、岩根

弘君）などもありました。

平谷君の名司会により会は順調に進行し、西川武平君のリードで校歌を斉唱して有終の美を飾りました。最後に世話人代表の和田喜久雄君から、「名残は尽きないが皆様の御健勝を祈る」と閉会の辞があり、我々はついに55期同窓会を卒業しました！老兵は消えゆくのみ！しかし北野高校は永遠です。母校のますますの発展を祈ります。

●56期のつどい

青木博（56期）

平成25年度前期のつどいは、五月晴れの5月16日（木）12：30より母校近くのホテルプラザオーサカにて開催いたしました。ホテルのご厚意で花伝の間は時節に合わせて「男の節句・鎧兜の



人形」が飾られて正に雰囲気満点のスタートでありました。満87歳や88歳にもなると、さすがに体調を崩したり、奥様の介護などで残念ながら遠出が憚らない人達がだんだん増えてきたことは洵にやむを得ぬ仕儀ですが、先ずは元気な10名（急用にて1名不参）

が参集いたしました。開宴は記念写真～級友故人への黙祷を終えて愈々横山嘉司君の司会で恒例の和気藹々の懇親・懇談会が始まりました。

50人に案内して出席率20%は少々寂しいのですが元気な人達は毎年豪華船や航空機で海外を廻り趣味のスケッチを楽しむ人、ハイキングで10,000km超を踏破している人、読書は勿論 弓道 ゴルフ コーラス 川柳 囲碁などなど長年の趣味を続けている人達と多士済々で洵に頼もしい限りです。

なお、秋の「56期のつどい」は、来る平成25年11月1日（金）の11：40より上記 プラザオーサカにて開催することになっています。

●五九老北摂会最後の集い

金 津 博 直（59期）

59期生は、戦中最も激しい時代の、昭和20年（1945年）戦時中の特別措置で、初めて4年卒業という制度の中で、通年動員をうけて、全員がばらばらに、数ヶ所の軍需工場に派遣され、北野中学・高校の140年の歴史の中で、第二次大戦中のいわゆる戦争中の中学生でした。

卒業後は、ときどき同期会を開催しておりましたが、40数年経って、阪急沿線に居住する者中心に、五九老北摂会として、時折集まることができましたが、ここ何年か、その機会にめぐまれませんでした。その間に、中心になっていました幹



事が、次々と、不帰の人となって、生存者の方が少なくなりました。このあたりで、偲ぶ会を兼ねて、集ってはどうかという声もありましたので、久しぶりにその機会をつくりました。

物故者のご令室方にも出席願って、みなでご冥福を祈り、思い出話に興じました。

平成25年6月13日、豊中島熊山で開催しましたが、当日は、37度9分という全国一の猛暑日となり、80代の高齢者の集まりが無事に終わったことが何よりでした。

残っている同期生が、一日でも長く元気であることを祈って会を閉じました。

●平成25年度60期同窓会の報告

太 田 元 治（60期）

去る5月8日（水）60期同窓会総会をウェスティンホテル大阪で開催した。

準備は順調に進み、参加者も同伴者5名を含めて総勢42名となった。当日は五月晴れの好天に恵まれ、恰も我々の総会を応援しているが如くであった。

受付開始30分前には1年振りに見る懐かしい顔が次々に集まって来て、彼方此方で歓談の輪が広がっていた。

スケジュールに従い、先ず記念撮影。そして定刻の正午に川井茂夫君の司会で総会は始まった。

ここでサプライズあり。山田文一君提案の「ブチ・コンサート」が始まった。（これは彼の知人である大阪音楽大・学長提案で、卒業生のソプラノ歌手吉田早夜華、ピアノ奏者辛島則子女史によるもの）歌手が我々のよく知るポピュラー5曲を、次いでクラシック・オペラ歌曲2曲を演じたが、その雰囲気は恰も「小オペラ劇場」の如くであり、暫しその美声に聴き入ったひと時であった。

次いで六稜同窓会学年理事の大西啓隆君の発声で「乾杯」。宴は始まった。同期のニューヨーク



在住の尾崎 敏君が叙勲（瑞宝中綬章）の栄に浴された旨の報告もあった。

フレンチ・フルコースの料理はホテル料理長の解説付き。（ホテル側と昵懇な渋川攝也君の世話による）

1年振りに顔を合わす者が多い総会は、時間の経つのが速い。午後2時、終宴も迫り、次期幹事代表河野英通君が挨拶。川井茂夫君誘導により「六稜の星のしるし」を斉唱。互いの健康を祈り合い、1年後の再会を約して「お開き」となった。

【平成25年度幹事：太田元治・川井茂夫・山田文一】

●65会（65期）卒業60周年記念総会

田 中 亨 洋（65期）

65会は今年が卒業60周年の記念すべき年であるとともに、毎年開催をしてきた全体行事としての総会を今年で幕引きとすることを決めていたので、最終総会としても正に記念すべきものにするべく準備委員総力を挙げ、65会に因み去る6月5日ホテル・ニューオータニ大阪 鳳凰の間で盛大に開催された。

総会には毎年恩師をご招待しているが、残念ながら例年ご出席くださる山崎馨先生のご都合が悪く、今年は関谷全先生・小池美代子先生の恩師お

二人のご出席のもと総勢133名が参加した。

会合は10時半から総会・懇親会・二次会と三部制であったが終了予定とされた5時を廻っても宴は余韻嫋嫋として果てず、最終総会と

して感慨深い一日であった。総会では65期の我々を圧倒するお元気な恩師お二人のご挨拶、37年にも及ぶ海外生活を体験された藤圭之介君の卓話、懇親会でのペルー人兄弟によるラテン音楽ショーの余興は大変な好評であった。

毎回遠路はるばる参加してくれる友に加え、今回は最終総会であったこともあって、卒業後初めて参加してくれた友、遠路ご夫人同伴の上車椅子で参加してくれた友、体調の都合で当日直前まで様子を見た上で参加してくれた友たちがいた。更に健康等の理由で参加はされなかったが寄付を頂いた友もおられ、これらの友人達には準備に係わった一員として特に有難く感謝を申し上げたい。

65会は1953年に約420名が卒業し、1973年の20周年行事以降5年毎に、1999年年以降は毎年総会を開催しており、その間90余名が他界したが、全員が喜寿を過ぎた今日も未だに130名以上の参加者があるのは喜ばしいことであり、誇らしいことでもある。これまで二代に亘り会の運営を支えてくれた65会事務方の功績大であることは言うまでもない。

さて、総会が終わった今、まだまだ元気な仲間から会の継続を望む声が上がっている。一年後にまた誰かが同じご報告をしているかも知れない。喜んでそれも諒としたい。



●六稜67期喜寿記念総会

日 高 穂 (67期)



私達67期生は去る4月20日(土)「喜寿記念総会」を六稜同窓会館及びホテルプラザオーサカに於いて開催いたしました。今回は82名の方の参加があり、福田博造先生もお元気にご出席下さいまして、本当に嬉しくほっと致しました。

先ず幹事を代表して羽尾清さんのご挨拶と物故者(不明者を除く)87名の方達への黙祷を捧げることからスタート、その後福田先生のご挨拶を頂戴し、この会館で先生を囲んでのクラス別写真を撮らせていただきました。終了後各自プラザオーサカに移動し、地下一階の写真室で全員の記念写真を、相変わずちょっと手狭な感じでしたが、皆肩を寄せ合っの楽しい撮影風景となりました。そしてようやく19階・淀の間に集合し、神宅寿昭さんの乾杯のご発声で二次会のスタートです。しばらくお食事を楽しんでいた後、先ず東京から参加の檜川哲次さんより東京67期会のお話などを、次に初参加の加地伸行さんはいたってお話し上手な方ですが、こんな場合は何を喋っているのやらと本屋で立ち読みをして調べていらしたのか、皆の笑いを誘っておられました。次の杉尾伸太郎さんは、今世界遺産を決める委員をやらされていて、富士山が候補に挙がっているのだからどうなることやらとのお話、この時点ではまだ決まっていなかったようですね。ここで北垣次彦さんが今日北野から移動の途中「弾痕の壁」を見てこられたの感想で、現役の生徒たちがその存在さえ知らなかったことにショックをうけておられました。さてこのあと神宅さんのご紹介で前田隆弘さんがゴルフで珍しい「エイジ・シューター」という賞を貰われたとの事、ご本人曰く「今僕は極楽浄土にいる気分です」とやら…私はゴル

フのことはさっぱりですが、今回新しく出る北野の名簿に彼が一番に一頁大の広告を出して下さいたことを皆様に報告出来るきっかけになりました。

あとは尾崎馨さんや下房道子さん長野生子さんなどがそれぞれ軽妙な語り口で座をもりあげて下さいました。さてお開きには全員起立しての校歌斉唱、次回は2年後「傘寿の会」をめざしてということになりました。戦後68年、我が国では戦もなく、ふるりの母校もますます立派になり、こうして声をかけあって集える、この幸せ、この平和が是

非孫子の代まで永遠に続きますようにと祈らずには居られません。あの神々しくそびえる富士の山のように我等六稜同窓生も永遠に栄えあれ！と願っております。

●第34回六稜71懇話会

東 中 稜 代 (71期)

第34回六稜71期懇話会は、平成25年5月3日、大阪新阪急ホテルの宴会場「月の間」で挙行された。連休中ではあったが、43人の学友が出席した。要領を得た田中浩作君の司会のもと、賑やかな同窓会になった。今回の卓話は佐賀大学名誉教授の小林茂治君に、「PETを組み込んだマンモグラフィ装置の開発と、その画像精細化の試み」なる題目で、話をしてもらった。無知蒙昧なる大方の同窓生に対して、小林君は噛んで含めるように、子供に諄々と諭すように、丁寧に説明してくれた。お陰で、一同居眠りすることもなく、半ば分ったような気持ちになって耳を傾けた。長年、真摯に研究・教育に携わってきた氏のプロフェッサーとしての一端を垣間見る卓話だった。この他に、山本雅弘君の叙勲(旭日中綬章)という慶事があり、彼は、額縁に納められた賞状と勲章を同窓生たちに示しながら、勲章について簡潔かつ十分な説明をしてくれた。

しかし、楽しいことにもついには終りがくるもの、閉会の辞を筆者が述べる段となった。山崎馨先生の古典の時間に習った『伊勢物語』の「つひに行く道とはかねて聞きしかど昨日今日とは思はざりしを」を引用し、我々はそんな時期に近づきつつあるが、同時に、「希望はいつまでも人の胸



に湧き起るもの」(Hope springs eternal in the human breast.)、というイギリスの言葉も持ち出して、今と未来を頼み、元気で再会を願い約しつつ、閉会の辞に替えた。そして大阪の高校の同窓会らしく、元氣よく「大阪締め」で会を終えた。

●95期 卒業30周年同窓会

松 本 幸 久 (95期)

梅雨入り間近の蒸し暑い5月25日(土)、3年前の前回よりも20名ほど多い、123名の出席を得



て、六稜会館にて95期の同窓会が盛大に開催されました。今回は卒業30周年という節目の年であり、また来年の六稜同窓会総会は95期のわれわれが幹事を務めることとなっておりますので、その拳固めという意味も込めて、今年開催することとしたものです(なお、今回の同窓会は、①周年開催、②同窓会館で開催、③会費納入のPRを行うという条件の下、六稜同窓会からの3万円の助成金をいただいております。本会がこの助成金適用の初のケースということです)。

学年理事の松本、松田の進行で開会、来年の総会に向けたスケジュールや、協力をお願いなどを行った後、藤尾先生からご挨拶と乾杯のご発声を頂戴しました。先生からは、30周年のお祝いの言葉と、われわれの年代が今、社会の中核となっていることに対して、心強いエールをいただきました。それにしても、30年前の高校時代、藤尾

先生には大変厳しくご指導していただきましたが、その厳しかった先生から、このように温かいお言葉をいただき、改めて、身の引き締まる思いがいたしました。

その後は賑やかな歓談。特に余興めいたものはなく、今回も「心ゆくまで話をする」ことに、たっぴりと時間をと

りました。最初のテーブルは3年時のクラスで分かれていましたが、時間を区切って、2年のクラス、1年のクラスという具合に「クラス替え」を行い、まさに高校時代に戻って、「あの頃の思い出」、「今だから言えること」に話の花が咲きました。まさに、これが同窓会の醍醐味というものでしょう。日々の現実から少しだけタイムスリップして、30年前のあの頃の話に花を咲かせる。私自身も、一次会で4時間というのは少し長いかな、とも思っていました、意外とあっという間に時間が過ぎてしまったというのが実感でした。クラス替えの切れ目には、松下先生からのお言葉、東京六稜会の95期幹事の谷垣さんからの活動紹介などを散りばめ、最後は北野高校の数学とえばこの方、三橋先生からのお言葉と、一本締めで、一次会をお開きといたしました。

引続き、プラザオーサカのラウンジ北野に場所を移しての二次会にも半分以上の73名プラス三橋先生もご参加、カラオケなどでも盛り上がりました。また、さらにその後十三駅前の居酒屋に場所を移した三次会にも50名を超える方が参加、土曜日の開催ということで、皆さん心ゆくまでお話ができたのではないかと思います(さらにさらに四次会に流れ込んだ面々も…六次会まで確認できました。)

いよいよ平成26年度は、われわれが六稜同窓会の総会を仕切る番です。今回の同窓会で培った結束力をもって、何とか立派な総会にできるよう、頑張りたいと思います。今回、いろいろとお手伝いいただいたクラス幹事・世話役の皆さん、お疲れさまでした。引続き、よろしくお願いします。



同期会予告

●66期有志会

日 時：平成25年10月21日（月）12時より
場 所：ラ・フェット ひらまつ
大阪中之島フェスティバルホール37F
出席確認のご案内は 9 月20頃にお送りします。
連絡先：水野 瑛子
TEL/FAX：0727-70-2129

●70期55周年記念同窓会

日 時：平成25年11月 9 日（土）
12：00（受付11：30分）
場 所：ヒルトン大阪
〒530-0001
大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号
T E L：06-6347-7111
連絡先：黒川 森夫
〒658-0072
神戸市東灘区岡本 7 - 9 -13
TEL/FAX：078-451-6819
黒川歯科 06-6346-0801
本年は70期生の卒業後55周年を迎えます。皆様のお手元へは既にご案内が到着していると思います。奮ってご参加くださいますよう、幹事一同心よりお待ちしております。

●74期みなわ会

今年のみなわ会は140周年総会および記念祝賀会終了後に行う予定です。
総会共々奮ってご参加ください。
日 時：平成25年11月 2 日（土）18：30より
場 所：フェスティバル&ピアホール
（フェスティバルホール2 階）
大阪市北区中之島 2 - 3 -18
T E L：06-4708-3312
会 費：5,500円（予定）
連絡先：学年理事 北岡満一（06-6351-2769）

●76期 恒例 学年同期会

日 時：11月30日（土） 毎年11月の最終土曜
場 所：ホテルプラザ大阪（北野高校東隣り）
T E L：06-6303-1000
時 間：5 時より
会 費：7,000円

学年代表幹事：奥田 稔
事務局：北岡 満

●85期 卒業40周年 全体同窓会

日 時：2013年11月 3 日（日）
同窓会 17：00～20：00
二次会 20：00～22：00
場 所：同窓会 ヒルトン大阪 4 階宴会場
二次会 同上 35階スカイラウンジ
大阪市北区梅田 1 - 8 - 8 TEL 06-6347-7111

詳細は、郵便で案内を送りました。大勢の同期生と恩師の集う、和やかで楽しい会にしたいと思いますので、ぜひご出席ください。
連絡先：各クラスの幹事 または
丸山 m.maruyama339@gmail.com

●88期（平成25（2013）年度）同窓会のお知らせ

88期の皆さん 2 年に一度の同窓会のお知らせです。
平成25（2013）年12月 7 日（土）17時から開催します。
今回は、脳科学者である定藤規弘君が登場する六稜トークリレーに併せて開催します。
後日、ご案内のハガキをお送りします。お忙しいと思いますが、トークリレーと合わせてのご出席いただきますよう心から願います。

■0 次会／六稜トークリレー

日 時：平成25（2013）年12月 7 日（土）
14時～16時
場 所：六稜会館 3 F
講 師：定藤規弘君 @88期

■1 次会

日 時：平成25（2013）年12月 7 日（土）
17時～20時
場 所：ホテルプラザオーサカ 1 F 雅の間
大阪市淀川区新北野 1 - 9 -15
TEL：06-6303-1000（代）

■2 次会

日 時：平成25（2013）年12月 7 日（土）
20時～22時
場 所：ホテルプラザオーサカ
3 F パーラウンジ北野
お問合せ：88期学年理事 濱名一実、疋田直子

●101期卒業25年目学年同窓会開催予告

（数十年ぶりの学年同窓会、ぜひ顔をだしてください！）
開催日：平成25年11月23日
（土曜日：祝日：勤労感謝の日）
場 所：一次会（13時30分～17時）
北野高校内 六稜会館
二次会（18時～20時30分）
ホテルプラザオーサカ 1 階
会 費：一次会のみ :2,000円
二次会のみ :6,000円
一次会&二次会 :7,000円
一次会は、懐かしの先生の講義など、盛りだくさんな企画あり。
スナック、ソフトドリンクをご用意します。
二次会は、立食形式の懇親会（飲み放題）
詳細は、101期公式メーリングリストで配信予定です。

101期公式メーリングリストでは、さまざま同期生に関する情報を配信しています。お名前（旧姓も）と卒業時のクラスを明記の上、kitano101@gmail.com にメールしていただければ、幹事にて登録作業をいたします。すでに300名以上の同期が参加していますので、まだの方のご連絡お待ちしております。
101期学年理事 林 大輔

北野高校国際交流

北野からケントへ

2013年 3 月23日から 4 月 3 日まで、今年も生徒 5 名と教員 2 名がケント地区の高校を訪問しました。全校生徒に配布された「大阪府立北野高等学校国際交流報告集」より、生徒の文章を抜粋してその様子をご紹介します。

◇出発まで 2012年12月

私は一昨年のホストファミリーとしての受け入れにも応募したのですが、外れてしまい、この派遣の抽選をととても待ち遠しく思っていました。抽選の日、集まったのは25人ほどでその中で実際行けるのはたった 5 人。当たったら奇跡だと思っていました。だから、当たりくじを引いたときは本当に信じられませんでした。（So exciting! – My stay in Seattle –）

◇出発まで 2013年 3 月

年が明けると、ホストが決まり、その子と何度もメールをやり取りしたり、プレゼンの準備をしたり、阿武野高校の人たちとダンスの練習をしたり、お土産を買いに行ったり。しかし、こうしている間も「自分は本当にアメリカに行くのだろうか」と全然自覚がありませんでした。（So exciting! – My stay in Seattle –）

◇シアトル着 2013年 3 月24日

私たちがアメリカに着いたのは土曜日だったので、ホストのメンバーが空港まで迎えに来てくれました。私のホストである Anna と初めて会ったとき、自分の英語が通じるのか少し不安になりましたが、Anna が私の言っていることを聞き取ろうとしているのを見て、そんなことも気にしなくなりました。（I want to go to America again!）

◇ケントウッドにて 3 月25日～

ケントに来て楽しい、嬉しいと心から思ったのは Kentwood 高校に通い始めた月曜日からです。最初に出席した日本語クラスでとても積極的に話しかけてくれる生徒にあって、それに答えているうちに、やっぱりわからなくてもコミュニケーションを取ろうとするって楽しいことだなと思いました。



日本語がとても上手な生徒もいれば、あまり上手ではなくて、会話の途中で日本語が出てこなくなってしまう生徒もいましたが、そんな時には英語と日本語両方を使いました。そうしてあるうちに大切なのは何語で話すことができるかではなくて、内容が相手に伝わったかどうかということだと実感しました。ケントの生徒たちはそのことをもうよく理解しているようで、とても積極的で私も見習わなければと思いました。日本語クラスにはほぼ毎日行ったので最後にはとても仲良くなって写真もたくさん撮りました。（THANK YOU FOR EVERYTHING）

◇ケントレイクにて 2013年 3 月28日～

今日は Kentlake 高校にお邪魔しました！まだ開校してから十年ほどしかたっていないので、校舎がめっちゃくちゃきれいでした。車の修理のクラスや英語、演劇クラスを見学しました。演劇クラスの先生はおもしろくて、ファンになりました。ランチタイムに、わたしたちは習字を披露しました。字が汚くてごめんなさい！！とおもいながらバンバン書いていました。夕方に、明日の Cherry blossom festival のリハーサルをしました。リハなのに緊張してしまって、すこし不安が残りました。（My precious memories）

◇Cherry Blossom Festival 3 月29日

その日の午後には、Kentlake 高校で、周辺 4 高校が集まっての大きなお祭り、Cherry Blossom Festival が行われました。食べ物などの屋台があってそれはそれで楽しかったのですが、何と言ってもお祭りのメインは、ホールの舞台でのパフォーマンスでした。僕たちは、北野生と阿武野生合同で AKB48 の「Everyday、カ

チューシャ」を踊りました。練習のかいあってか、女装させられて恥ずかしながらも精一杯踊ることができて、お客さんも盛り上がってくれたので本当に良かったです。また、中村さんのホストのAnnaを始め日本好きの人が日本の歌を日本語で歌ったり（本当にうまかった!）、K-popを踊る人がいたりとお祭り全体としても、非常に盛り上がっていました。（夢のような10日間!）

◇日本文化のプレゼンテーション 4月1日

4月1日、月曜日、私には数少ない授業日。期待通り、北野生はしっかりプレゼンテーションをやってくれました。内容は日本紹介。渡航前に準備していたパワーポイント、テーマは「そば」「菅原道真」「日本のマンガ」「おせち料理」「年中行事」。ちょっと突っ込んだ説明もあったし、画面の構成も上手だったので、Q&Aも盛んで、その受け答えも善戦していました。6時間授業の1日ですが、2時間目だけが休憩で、あとの5時間を使って、北野生は合計3回、各時間のケントウッド生に対し、プレゼンをやってくれました。ネイティブを前にしたプレゼンはこれから先の自信につながったのではないのでしょうか？

（Kentwood, Kentlake 高校滞在記 英語科・梶田教諭）

◇帰国 4月2日

日本に帰る日、平日だったため

空港にはAnnaしか来ませんでした。空港に行く前に、学校で他のホスト達とお別れをして、Annaからこのアメリカにいる間に撮った写真を入れたアルバムとPrincessが描いた絵をもらいました。空港に移動する車の中で、Annaと二人で泣きました。空港に着いてからも、みんなで日本に帰りたくないと言いながら移動して、Annaともお別れの時、最後にAnnaから手紙をもらいました。最後の最後までこんなプレゼントがあるなんて思ってもみなかったのととても驚きましたし、泣きそうになりました。（I want to go to America again!）

ケントから北野へ

今年はケントウッドからは男女各1名、ケントレイクからは女子2名（計4名）の生徒と教員1名が来日しました。7月7日の昼休みにグラウンドで全校生徒に紹介された後、いろいろな授業に参加しました。北野での授業最終日の12日放課後には六稜ホールでfarewell partyが開かれました。



写真：国際交流委員会、神川定久先生



教職員異動（2013年4月現在、敬称略）

・退職

校長	楠野 宣孝
	樟蔭中学校・高等学校校長に
教頭	竹内 祥浩
	再任用教諭として大正高等学校へ
教諭	数学 中島 正樹
	大阪教育大学附属平野学舎へ
教諭	化学 福田 稔
	今年度は非常勤講師として本校に勤務
教諭	体育 高橋 貴美子
	再任用教諭として和泉高等学校へ
教諭	音楽 佐々木 信明
実習教員	長井 真知子
常勤講師	国語 能登 敦子
	大阪教育大学附属天王寺学舎へ
常勤講師	数学 小柳 忠弘
	天王寺高等学校へ
常勤講師	化学 柳 晶子
・転出	
事務長	清水 正浩
	豊島高等学校へ
教諭	数学 岩井 清
	千里高等学校へ
教諭	物理 金岡 翔
	平野高等学校へ

・新着任

校長	原田 恵子
	東住吉高等学校校長より

教頭	浅尾 悦司
	渋谷高等学校首席より
事務長	田中 功治
	花園高等学校より
教諭	国語 梶井 英人
	生野高等学校より
教諭	数学 三宅 恵子
	池田北高等学校より
教諭	（再任用）数学 辻村 久生
	天王寺高等学校より
教諭	物理 稲垣 誠三
	北淀高等学校より
教諭	体育 西田 康子（95期）
	北淀高等学校より
教諭	音楽 仁科 太佑
	北摂つばさ高等学校より
実習教員	葛城 実樹
	大手前高等学校より
教諭	化学 津越 智子
	新任
教諭	英語 若宮 功（121期）
	新任
常勤講師	生・化 小松 慎太郎

おくやみ

平成25年2月28日に上田浩石先生（英語S25～S39、S41～S52）平成24年11月27日に杉本二一事務長（S40～S48）がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

平成25年度大学合格者・就職者数一覧

国立大学	
北海道大学	4
東北大学	2
筑波大学	2
東京大学	3
東京芸術大学	1
一橋大学	2
横浜国立大学	2
新潟大学	1
金沢大学	1
福井大学	2
信州大学	1
三重大学	1
滋賀大学	1
滋賀医科大学	4
京都大学	65
京都教育大学	1
京都工芸繊維大学	4
大阪大学	67
大阪教育大学	10
神戸大学	28
奈良教育大学	1
奈良女子大学	3
和歌山大学	1
鳥取大学	2
島根大学	1
岡山大学	3
徳島大学	2
九州大学	6
鹿児島大学	2
琉球大学	1
合 計	224

公立大学	
金沢美術工芸大学	1
都留文科大学	1
岐阜薬科大学	2
名古屋市立大学	3
滋賀県立大学	1
京都府立医科大学	2
大阪市立大学	17
大阪府立大学	23
神戸市外国語大学	1
兵庫県立大学	2
奈良県立大学	1
和歌山県立医科大学	1
合 計	55

私立大学（合格者は延べ人数）	
慶応義塾大学	11
中央大学	4
東京理科大学	19
明治大学	11
早稲田大学	19
京都女子大学	11
京都薬科大学	8
同志社大学	196
同志社女子大学	4
立命館大学	143
龍谷大学	3
大阪医科大学	6
大阪薬科大学	12
関西大学	56
近畿大学	14
関西学院大学	66
甲南大学	8
神戸薬科大学	2
武庫川女子大学	1
その他の私立大学	46
合 計	640

準大学・専修学校等	
準大学	2
専修学校等	2
合 計	4

事務局だより

理事会報告

平成25年 6 月22日開催 出席者：63名

■決議事項

- 平成24年度決算報告の件
- トークリレー映像記録経費を同窓会で負担する件。
- トークリレーの映像記録閲覧の件。
- 9 月トークリレーの内容を活字にして、11 月の総会で配布する件
- 六稜文庫運営規定・細則改訂の件。
- 六稜ラガークラブから学校への寄付（50万円相当）の件、同窓会を通して学校に寄贈する。
- 事務局から提案の、太陽電池を会館屋上に設置する事を撤回する件。

■討議事項

- 六稜同窓会140周年総会・140周年記念祝賀会の総務委員会の企画案について。
- 会館催事委員会から提案事案について。

■報告・検討事項

- 財務委員会より、平成24年度決算の報告が有り、承認された。
- 総務委員会から140周年総会・140周年記念祝賀会の企画及び副委員長人事報告があった。
- 会館催事委員会より、トークリレー関連の報告と審議要請事項の報告があった。
- 名簿委員会より、記念名簿編集方針の説明と協賛広告・予約販売の現状報告があった。
- 広報委員会より、会報第61号、WEB カード決済・リニューアルの現状報告があった。
- FR 委員会より、活動報告と活動予定及び今後の課題についての報告があった。
- 東京六稜会より総会開催及び東京六稜倶楽部の現状報告があった。
- 学内理事より、140周年記念行事準備状況の報告と新任の六稜生教員の報告があった。
- 事務局より、各種報告があった。

理事会終了後、名簿委員会及び広報委員会が開催された。(16:00～17:00)
総務委員会は同日午前中に開催された。(11：00～12：30)

年会費納入のお願い

納入が未だの方は、この会報に同封のゆうちょ銀行かコンビニの用紙を選択して、納入していただきますようお願いします。
銀行振込は下記口座にお願い致します。

三井住友銀行・十三支店
普通1077672 六稜同窓会

銀行振込に際しては、必ず会員番号・氏名の順で記入してください。振込費用は各自ご負担でお願いします。

会費のクレジットカード決済が始まりました。

六稜同窓会の年会費を、お手持ちのクレジットカードで決済できるシステムが8月より利用可能になっています。クレジットカードのブランドは、VISA,MASTER,AMEX,JCB がご利用になれます。
また、初回決済時、毎年4月1日に年会費が自動決済されるように設定頂くことも可能で、払い忘れを防ぐことができます。皆様是非ご活用ください。



決済システム URL
http://payment.rikuryo.or.jp
決済システムの使い方マニュアル
http://payment.rikuryo.or.jp/doc/manual.pdf

140周年記念名簿【好評発売中】

定価 5,000円
すでに予約申込みいただきました方には10月末より順次発送します。

六稜同窓会名簿 2013

Now
Printing

漂流する「割り舟」

昭和37年末まで本校の校舎の一角に古代の割り舟が置かれていたことを記憶されている方が居られるのではないのでしょうか。この舟は昭和8年に生徒の保護者田中浩一郎氏が大阪中央市場建設の際に発見し、本校に寄贈されたものでした。この舟が昭和38年の1月に大阪城内の大阪市立博物館に貸し出され、さらに平成17年3月に南港に出来た「なにわの海の時空館」に貸与され、公開されてきました。ところが今回この施設が廃館となったため本校に引き取って欲しいとの要請があったそうです。この舟が本当に価値があるものであれば文化財として認定してもらい、しかるべき場所で必要な処理を行ったうえで保存してもらうべきということで現在保留中ということです。50年間漂流してきたこの割り舟の最終の停泊地は一体どこになるのでしょうか。

事務局長 笹川忠士

お悔やみ

平成24年9月以降、平成25年6月までにご連絡頂きました方々をご卒業期順、およびご逝去日順に掲載しております。(多に掲載辞退の方もいらっしゃいます) 謹んでお知らせ致します。なお、本欄に誤りのある場合は、事務局までお知らせ下さい。次号で訂正させていただきます。(敬称略)

42期	鐘ヶ江	信光	平成24年12月5日
45期	松井	一雄	平成25年3月8日
49期	西尾	守成	平成24年12月
50期	中道	健太郎	平成25年4月17日
51期	栗田	達男	平成25年2月5日
52期	富田	謙吉	平成24年11月30日
53期	泉	忠雄	平成25年1月11日
54期	井口	由太郎	平成24年11月27日
	伊藤	和夫	平成24年12月8日
55期	野崎	全弘	平成25年5月23日
56期	森	悦郎	平成24年9月3日
57期	吉川	千石	平成24年9月28日
	森	章博	平成24年11月28日
	阪口	啓一	平成24年12月29日
	平井	五郎	平成25年2月16日
58期	近藤	三郎	平成24年11月11日
	牧	明	平成24年11月13日
	小西	道也	平成25年1月5日
	山口	武津雄	平成25年1月11日
	高尾	樹雄	平成25年1月14日
59期	伊藤	良彦	平成25年1月15日
	西田	悦男	平成25年3月2日
	辻	肇	平成25年3月25日
	八橋	卓	平成25年4月22日
	片山	義之	平成25年5月24日
60期	小西	昭	平成25年1月27日

	菊仲	將雄	平成25年2月28日
	坂内	幾男	平成25年3月7日
	鈴木	宏	平成25年3月13日
61期	宮津	淳一	平成24年12月17日
	出口	和夫	平成24年12月29日
	竹田	修三	平成25年1月23日
	三井	孝之助	平成25年4月7日
	人見	泰男	平成24年10月
62期	芦田	圭一	平成25年3月12日
	西本	敬之	平成25年4月5日
63期	小森	良彦	平成25年2月12日
	山崎	寛	平成25年5月8日
65期	山口	嘉子	平成24年11月24日
	加藤	正夫	平成24年12月
66期	清水	正啓	平成25年4月27日
67期	小野	晴平	平成25年1月5日
	長束	達也	平成25年1月4日
69期	泉野	耕作	平成25年3月3日
	磯川	彬	平成25年5月4日
70期	伊藤	民子	平成24年12月17日
	菅本	憲市郎	平成24年12月30日
	奥田	宏子	平成25年2月3日
	櫛部	正道	平成25年4月15日
	中岡	和子	平成25年5月17日
71期	石田	幸治	平成25年4月8日
72期	島田	巖夫	平成25年1月19日
78期	玉沖	達也	平成25年4月5日
79期	熊谷	誠二	平成24年12月11日
	乗岡	永記	平成25年2月16日
81期	濱本	隆	平成25年2月26日
85期	藤分	洋二	平成24年11月12日
86期	斎藤	久代	平成25年3月25日
112期	中原	早貴	平成25年6月25日

六稜カルチャー講座のお誘い

このたび山崎先生に長年講師をお願いしてきました「万葉集に親しむ」講座が終了いたしました。本校で世界史を教えておられた佐々木先生による「世界史の旅」講座が新しく開講することとなりました。
74期の皆様のご協力で下記の通り既に5月よりスタートしておりますので奮ってご参加ください。

世界史の旅 佐々木利昌先生 英文学の名作の旅 佐野哲郎先生

4月26日(第4金曜日)	英文学の名作の旅	9月20日(第3金曜日)	世界史の旅
5月17日(第3金曜日)	世界史の旅	10月25日(第4金曜日)	英文学の名作の旅
6月28日(第4金曜日)	英文学の名作の旅	11月15日(第3金曜日)	世界史の旅
7月19日(第3金曜日)	世界史の旅	12月20日(第3金曜日)	英文学の名作の旅
8月23日(第4金曜日)	英文学の名作の旅		

○日時：毎月第3 or 第4 金曜日 14:00～
○会場：六稜ホール(六稜会館3F)
○会館維持協力金：500円
○お問い合わせは 同窓会事務局まで